

## 災害時健康危機管理支援チーム研修から見えてきた課題

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 部長 金谷泰宏

災害時健康危機管理支援チーム(以下、「DHEAT」という。)は、災害時公衆衛生対策に関連する多職種より構成され、健康危機管理に係る指揮調整等に関する専門的な研修を受けた後、各都道府県に登録される方向で検討が進められている。DHEATには二次的な健康被害の最小化に向けて、大規模災害発生後、被災都道府県等が担う急性期から慢性期までの「医療提供体制の再構築及び避難所等における保健予防活動と生活環境の確保」にかかる情報収集、分析評価、連絡調整等を支援することが期待されている。このため、構成員には、(1)大規模災害時の情報収集、(2)保健活動への支援、(3)医療機関との連携を含む保健活動の全体調整、(4)人材の受入れ等の業務に関する教育が求められる。全国衛生部長会災害保健医療活動標準化検討委員会(中間報告)において、DHEATは、被災都道府県の本庁及び被災市町村を所管する保健所(保健所設置市を含む)に派遣されることから、派遣された部署の役割を理解した上で、DHEATを統括する者と補佐する者としての能力向上が必要となる。

被災都道府県の本庁に派遣されたDHEATは、都道府県災害対策本部、DMAT都道府県調整本部、派遣調整本部等との連絡及び調整、都道府県内の保健医療に関する被災情報の収集分析、厚生労働省との情報共有等の業務を支援するものとされ、被災市町村を所管する保健所に派遣されたDHEATは、保健医療に関する情報収集分析、都道府県等の本庁・DMAT活動拠点本部との連絡及び調整、地域災害医療対策会議等における指揮調整等の業務の支援が求められる。国立保健医療科学院(以下、「科学院」という。)では、東日本大震災の教訓を踏まえ、平成24年度より情報通信技術を用いて被災地の保健医療情報を迅速かつ的確に収集・評価する能力の向上に取り組んできた。平成25年度より災害時の公衆衛生対策の標準化を目指してスフィアスタンダードを導入するとともに、災害医療コーディネーター制度の導入に合わせて自治体保健部局と医療支援チームとの連携に関する能力の向上に向けた研修プログラムの開発を国立病院機構災害医療センターとともに進めてきた。

平成28年度より、DHEAT研修が全国8ブロックと科学院で開始されたところであるが、熊本地震を踏まえ、いかに受援力を高めるかも重要な課題となりつつある。については、DHEATの養成の現状と課題について報告する。

---

金谷 泰宏 (かなたに やすひろ) 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部長

平成 元年 防衛医大卒業

平成 9年 同大第三内科(血液学)で医学博士を取得

平成 11年 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課 課長補佐

平成 13年 防衛庁運用局衛生官付

平成 15年 防衛医大 校防衛医学研究センター 准教授

平成 21年 国立保健医療科学院 政策科学部長に就任し、平成 23年より現職

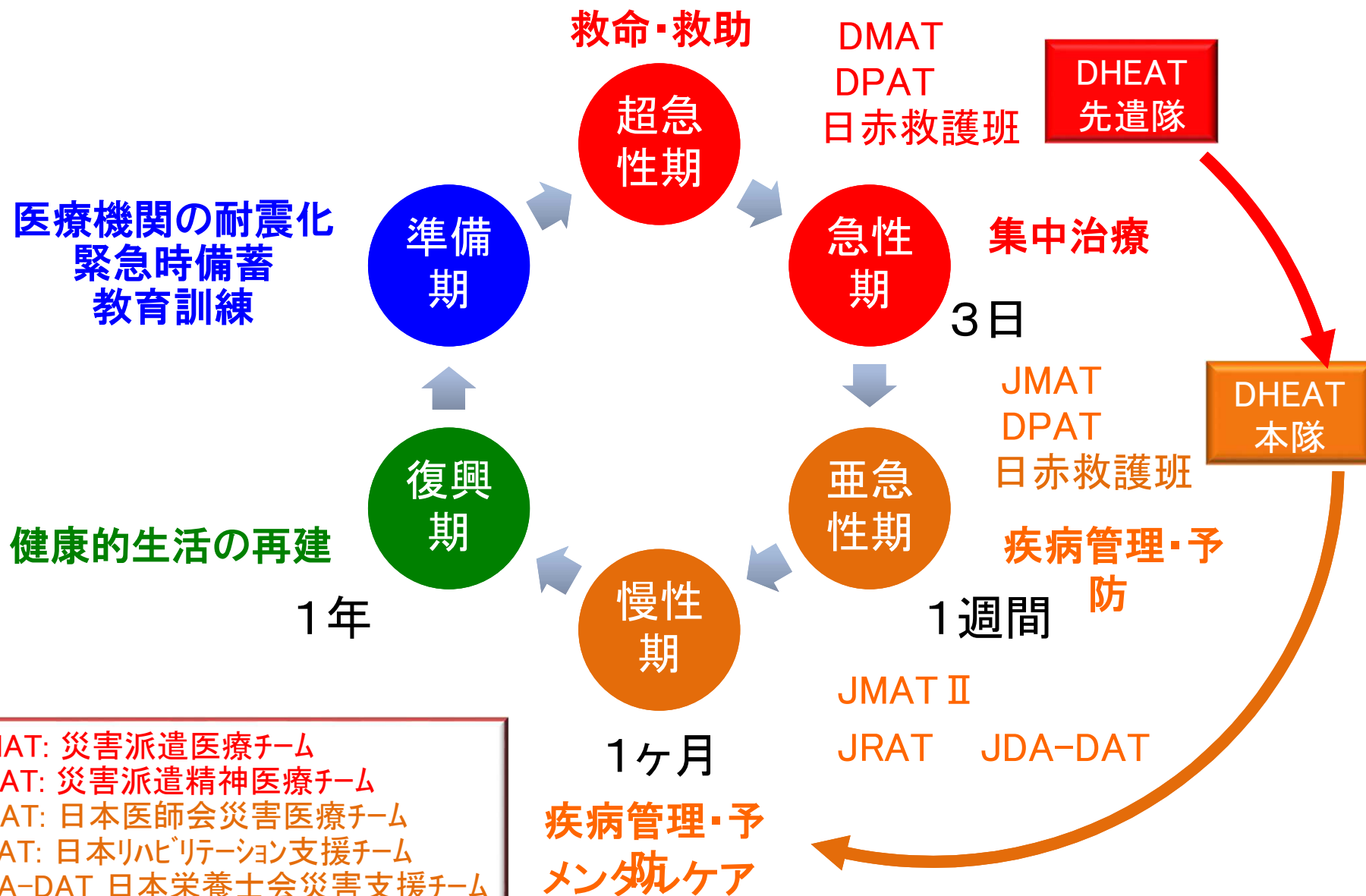
専門は、公衆衛生学、血液学。東京工業大学情報理工学院特定教授

第73回全国保健所長会総会  
パネルディスカッション  
「熊本地震の経験に学ぶ、DHEAT機能の検証」  
平成28年10月25日(火)14:30～17:00

# 災害時健康危機管理支援チーム 研修から見えてきた課題

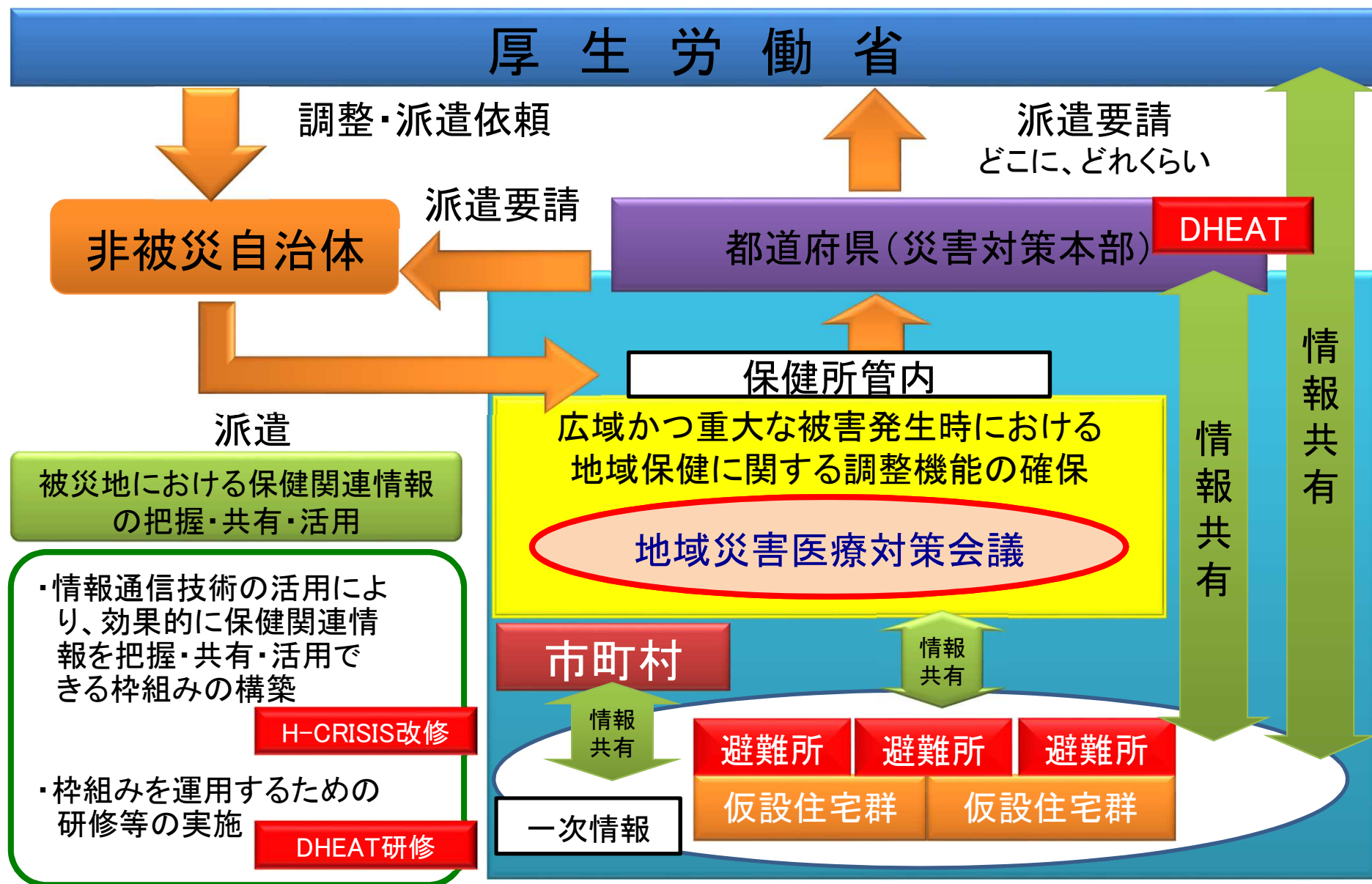
国立保健医療科学院  
健康危機管理研究部 金谷泰宏  
ykanatani@niph.go.jp

# 災害サイクルにおける保健医療支援チームの役割 ～災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の位置付け～



DMAT: 災害派遣医療チーム  
 DPAT: 災害派遣精神医療チーム  
 JMAT: 日本医師会災害医療チーム  
 JRAT: 日本リハビリテーション支援チーム  
 JDA-DAT: 日本栄養士会災害支援チーム

# DHEATに期待される役割とこれを支える研修とシステム



# H-CRISISを活用した保健医療情報の集約と評価

H-CRISISは、以下の情報をリアルタイムでDHEATに提供する。  
①震度等情報、②道路情報、③EMIS情報、④避難所情報

The screenshot displays the H-CRISIS interface. On the left, a map shows various locations with labels like '312031066' and '312031070'. A yellow box labeled '②道路情報' points to a road on the map. Another yellow box labeled '③EMIS情報' points to a building icon. A third yellow box labeled '④避難所情報' points to a specific location on the map. A fourth yellow box labeled '①震度等情報' points to a red square icon on the map. In the center, a white box labeled '情報登録' shows a person using a tablet. On the right, a sidebar contains a search bar, a '閉じる' button, and a list of menu items: '緊急時情報入力', '避難所シート入力', and '避難所避難者シート入力'. Below the menu is a table with the following data:

状況	推計値
避難所コード	SH312031057
都道府県	鳥取県
郡	
市区町村	倉吉市
住所	広栄町993番地1
避難者数	149
電気	
ガス	
水道	
飲料水	
固定電話	

## 健康危機管理支援ライブラリーシステム

Health Crisis and Risk Information Supporting Internet System (H-CRISIS)

# 災害時の公衆衛生対策とDHEATに求められる能力

時期		公衆衛生対応						求められる能力				
平時		地域協働の構築 災害時に向けた保健医療支援計画の構築						ボランティア等の活用 災害時連法制度の理解				
～3日	急性期	指揮体制の確立 被災状況の初期評価 避難・救出搬送 救急医療	情報・通信の確保	救援物資の供給	適切な遺体の処理	医療救護	水の供給	被災者支援の標準化	ICS/IAP	情報評価・保健医療連携		
～1週間	亜急性期	被災状況の全体評価 避難所の医療/保健衛生 小児保護 廃棄物・汚物処理							巡回診療		水の安全管理	PFA
～1ヶ月	慢性期	保健サービスの維持 疾患サーベイランス メンタルサポート 媒介生物駆除										Sphere project
～1年	復興期	医療サービスの復旧・復興支援 災害対策の見直し						医療需要の把握・評価、調整 保健医療統計に基づく介入評価				



# DHEATの能力に応じた研修プログラム（基礎編）

		基礎編	
目的	災害時健康危機管理支援チームの派遣・受援に関する基本を理解する。		
実施主体	一般財団法人日本公衆衛生協会		
期間・場所	1日・全国8ブロック 定員 60名		
到達目標	講義	(1) 公衆衛生上の緊急事態における国、都道府県、市町村の果たす役割を理解することができる。	① 公衆衛生上の緊急事態に関する国の政策 ② 公衆衛生上の緊急事態に関連する自治体の政策 ③ DHEATの活動について(支援と受援)
		(2) 公衆衛生上の緊急事態に備えた体制を構築することができる	① 管轄地域における健康リスクの評価 ② 公衆衛生上の緊急事態に備えた保健活動 ③ 公衆衛生上の緊急事態に備えた計画・訓練
	演習(1)(2)	(3) 公衆衛生上の緊急事態の発生時の保健活動の根拠や手続きについて説明ができる	① 災害時の保健活動、派遣手続き ② 災害医療と保健行政の連携 ③ 災害時の公衆衛生対策 (疾病管理、感染予防、栄養管理、こころのケア) ④ リスク/クライシスコミュニケーション ⑤ 災害支援のための健康情報支援システム概要 (EMIS、H-CRISIS、DHMISS等) ⑥ 自然災害発生時の初動対応とDHEATの運用 ⑦ 災害時の公衆衛生活動計画策定
		(4) 公衆衛生上の緊急事態の発生時に必要とされる情報収集、分析、提供の実践およびこれらを活用した公衆衛生対策の策定ができる。	① 県外派遣等外部支援者の受援対応 ② 関係機関連携と調整
	演習(3)	(5) 公衆衛生上の緊急事態の発生時に求められる関係機関や外部支援者等との調整に果たすリーダーとしての役割が理解できる	① 発災時に求められる管理者の機能 リーダーシップ、マネジメント、政策実行等

# DHEATの能力に応じた研修プログラム(基礎編) 到達目標1及び2

衛生部長会災害時保健医療活動標準化検討委員会

## 到達目標(1): 平常時

公衆衛生上の緊急事態における国、都道府県、市町村の果たす役割を理解することができる。

- ① 緊急事態に関する国の政策
- ② 緊急事態に関する自治体の政策
- ③ DHEATの活動(支援と受援)

## 到達目標(2): 平常時

公衆衛生上の緊急事態に備えた体制を構築することができる。

- ① 地域における健康リスクの評価
- ② 緊急事態に備えた保健活動
- ③ 緊急事態に備えた計画・訓練

## I. 序論

- 1 災害時の健康被害と対応すべき課題
  - 医療、保健予防、生活環境衛生
- 2 災害時の公衆衛生行政の役割
  - 法令、計画に基づく対策の実施

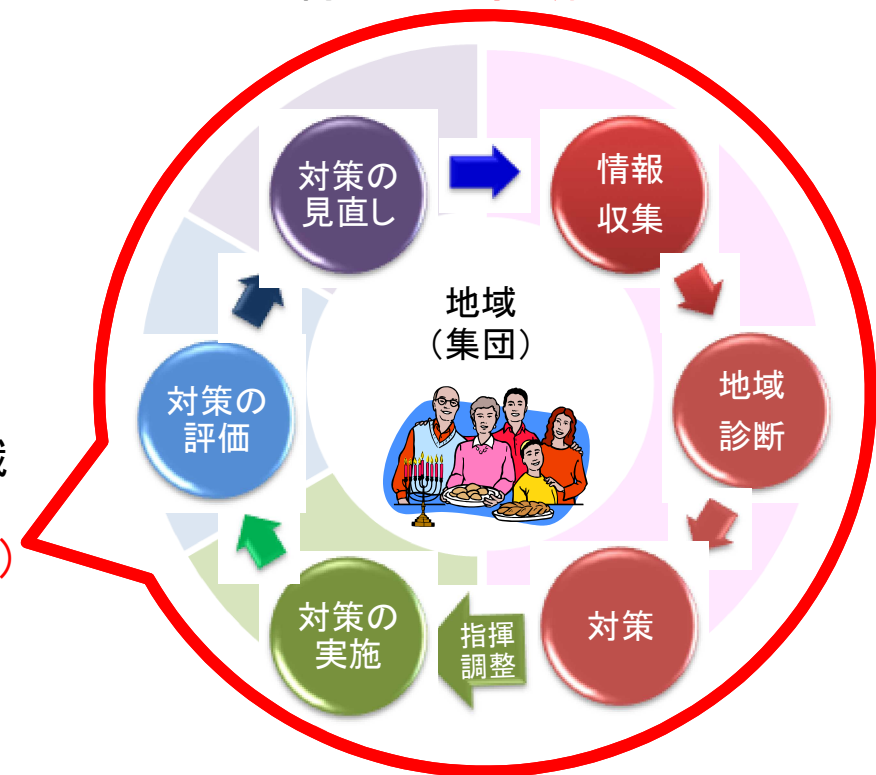
## II. 災害時の指揮調整の基礎知識

- 1 DHEATによる支援と受援
  - DHEATの合言葉 ... CSCAHHHH
  - 支援に当たっての心得 ... 寄り添い

## II. 災害時の指揮調整の基礎知識

- 2 災害時の指揮調整(マネジメント)の基礎知識
  - 平時と災害時のマネジメント
  - 災害時のマネジメント・システム(CSCA/ICS)
    - ・指揮命令系統の確立と安全確保
    - ・情報収集と伝達
    - ・後方支援
    - ・評価(災害時PDCA)
    - ・統合指揮調整

## III. 災害時健康危機管理支援チーム





# DHEATの能力に応じた研修プログラム(基礎編) 到達目標3

国立病院機構 災害医療センター

到達目標(3):災害時	達成項目
公衆衛生上の緊急事態の発生時の保健活動の根拠や手続きについて説明ができる	<ul style="list-style-type: none"><li>① 災害時の保健活動、派遣手続き</li><li>② 災害医療と保健行政の連携</li><li>③ 災害時の公衆衛生対策(疾病管理、感染予防、栄養管理、こころのケア)</li><li>④ リスク/クライシスコミュニケーション</li><li>⑤ 災害支援のための健康情報支援システム概要 (EMIS、H-CRISIS、DHMIS等)</li><li>⑥ 自然災害発生時の初動対応とDHEATの運用</li><li>⑦ 災害時の公衆衛生活動計画策定</li></ul>



保健所災害対策本部の立ち上げ時に行うべき事を理解する

達成項目  
⑥

ホワイトボード上での情報の整理、地図への反映方法を検討する

達成項目  
① ②



保健所災害対策本部における医療及び避難所ニーズの把握と対応について検討する

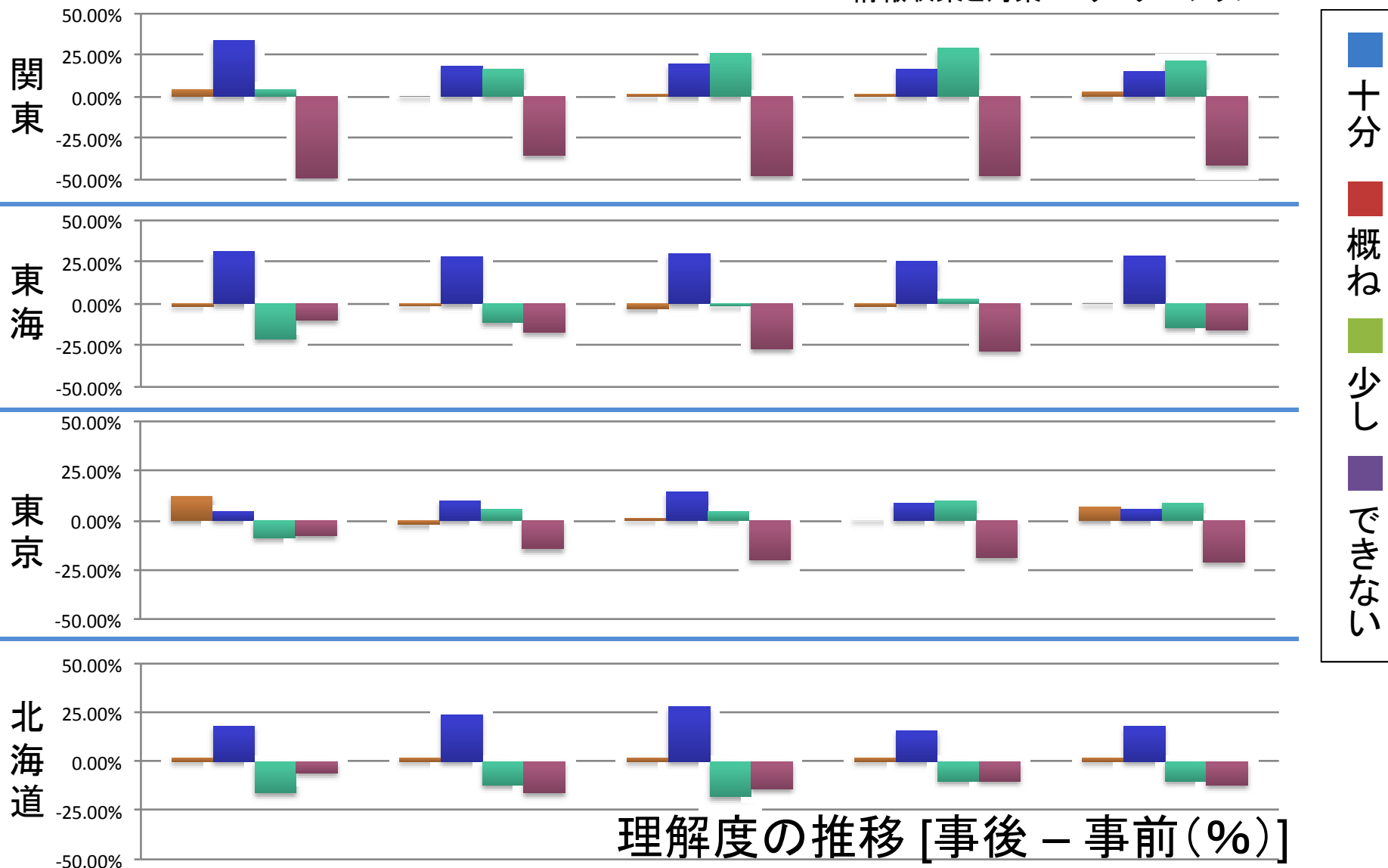
達成項目  
⑤ ⑦





# DHEAT研修・基礎編アンケート調査結果

目標(1)・講義 保健行政の役割  
 目標(2)・講義 体制の構築  
 目標(3)・演習 緊急時の保健活動  
 目標(4)・演習 情報収集と対策  
 目標(5)・演習 リーダーシップ



# DHEAT研修・基礎編の中で見えてきた課題

## 1 DHEATの役割

(1) 公衆衛生情報の分析・評価

– 保健行政が担うべき役割の明確化  **他機関との分担・共有**

(2) 各支援チーム活動の調整

– 地域災害医療対策会議と保健所の調整を支援

(3) 派遣先保健所管内市町村の保健医療活動支援

## 2 DHEATの管理・運用

(1) 派遣開始: “発災直後”からの派遣は難しい

(2) 派遣期間: “1週間”(実質、活動は5日間)

(3) 撤収時期: 仮設住宅への入居時期が目安

(4) 派遣地域: ブロック内派遣を考慮、**県内派遣の必要性**

(5) 受入体制: 派遣地域に関する情報の提供が不可欠

## 3 情報システム(H-CRISIS)の活用

(1) 調査項目: **避難所調査票の項目・評価指標の統一**

(2) 収集手段: 誰が入力するのか

(3) 情報共有: 自治体防災システム等との情報共有